第４９回景況調査

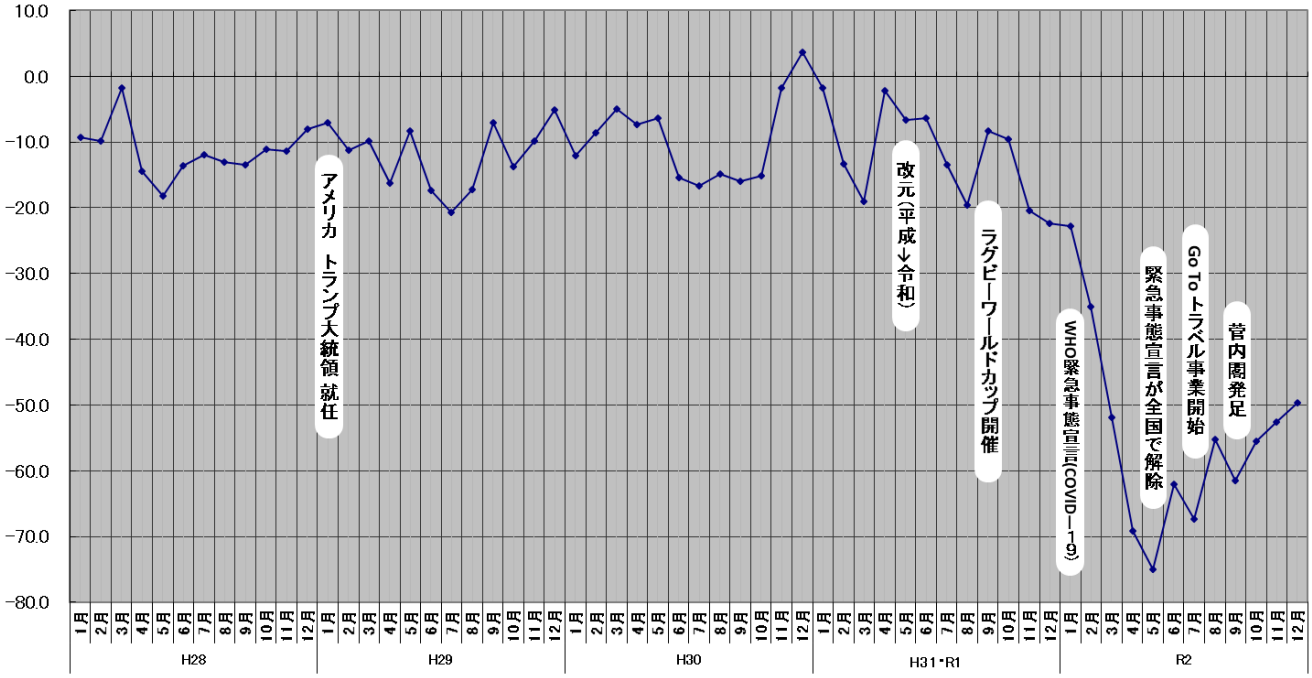
令和３年３月２２日　豊田市産業部商業観光課

１　現状調査及び分析

（１）豊田市業況 DI（豊田商工会議所 LOBO 調査より）［令和２年１２月末時点］

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H27	全国	▲ 15.30	▲ 13.50	▲ 15.30	▲ 20.00	▲ 14.90	▲ 17.30	▲ 17.50	▲ 18.10	▲ 17.20	▲ 19.40	▲ 22.80	▲ 23.60
	豊田市	▲ 17.40	▲ 10.30	▲ 17.80	▲ 12.50	▲ 6.30	▲ 33.30	4.30	▲ 9.80	▲ 3.90	▲ 9.30	▲ 9.80	▲ 1.80
H28	全国	▲ 21.00	▲ 22.80	▲ 24.80	▲ 24.50	▲ 24.90	▲ 27.80	▲ 25.50	▲ 22.90	▲ 21.70	▲ 23.00	▲ 35.3	▲ 20.1
	豊田市	▲ 14.50	▲ 18.20	▲ 13.60	▲ 11.90	▲ 13.00	▲ 13.40	▲ 11.10	▲ 11.43	▲ 8.11	▲ 7.14	▲ 11.3	▲ 9.9
H29	全国	▲ 17.30	▲ 16.20	▲ 14.50	▲ 16.10	▲18.20	▲15.3	▲16.0	▲14.9	▲13.3	▲ 14.40	▲ 17.1	▲ 15.8
	豊田市	▲ 16.20	▲ 8.30	▲ 17.40	▲ 20.70	▲17.2	▲7.0	▲13.8	▲9.8	▲5.1	▲ 12.10	▲ 8.60	▲ 5.00
H30	全国	▲ 11.50	▲ 13.60	▲ 15.40	▲ 16.70	▲ 14.80	▲ 16.00	▲ 16.00	▲ 14.90	▲ 15.70	▲ 16.00	▲ 18.1	▲ 16.9
	豊田市	▲ 7.30	▲ 6.30	▲ 15.40	▲ 16.40	▲ 1.90	▲ 12.10	▲ 15.10	▲ 1.80	3.70	▲ 1.80	▲ 13.30	▲ 19.10
R1	全国	▲ 16.70	▲ 17.10	▲ 18.30	▲ 20.20	▲ 21.00	▲ 20.00	▲ 24.10	▲ 26.80	▲ 29.40	▲ 26.80	▲ 32.6	▲ 49.0
	豊田市	▲ 2.20	▲ 6.70	▲ 6.40	▲ 13.46	▲ 19.61	▲ 8.33	▲ 9.62	▲ 20.41	▲ 22.4	▲ 22.80	▲ 35.00	▲ 51.90
R2	全国	▲ 60.40	▲ 65.80	▲ 62.80	▲ 59.30	▲ 59.00	▲ 56.50	▲ 50.20	▲ 45.80	▲ 46.10			
	豊田市	▲ 69.20	▲ 75.00	▲ 62.10	▲ 67.40	▲ 55.30	▲ 61.50	▲ 41.00	▲ 28.60	▲ 31.70			

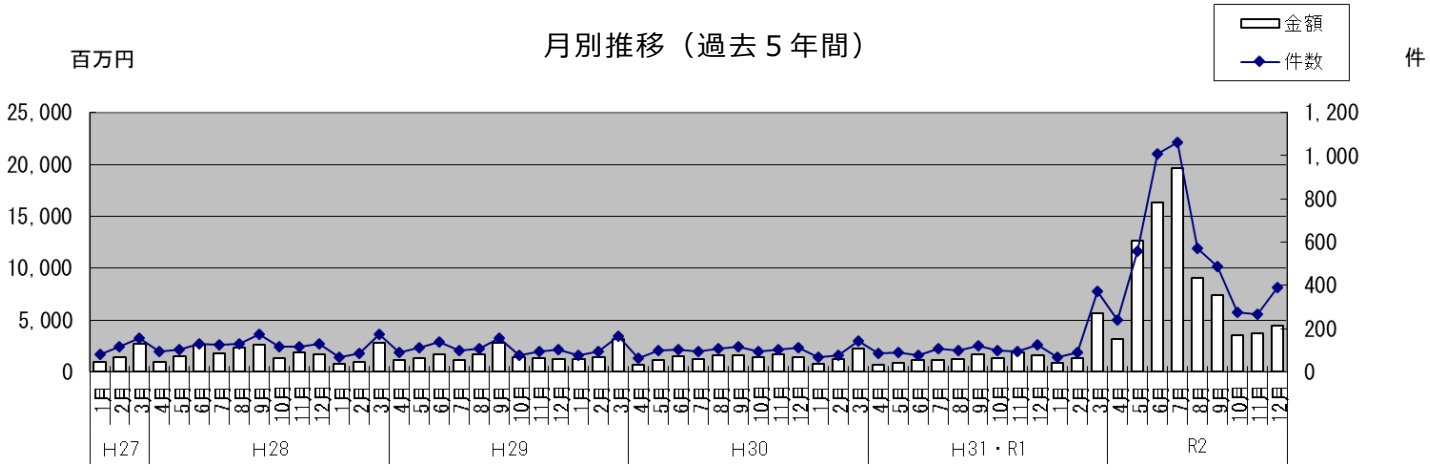
月別推移（過去 10 年間）

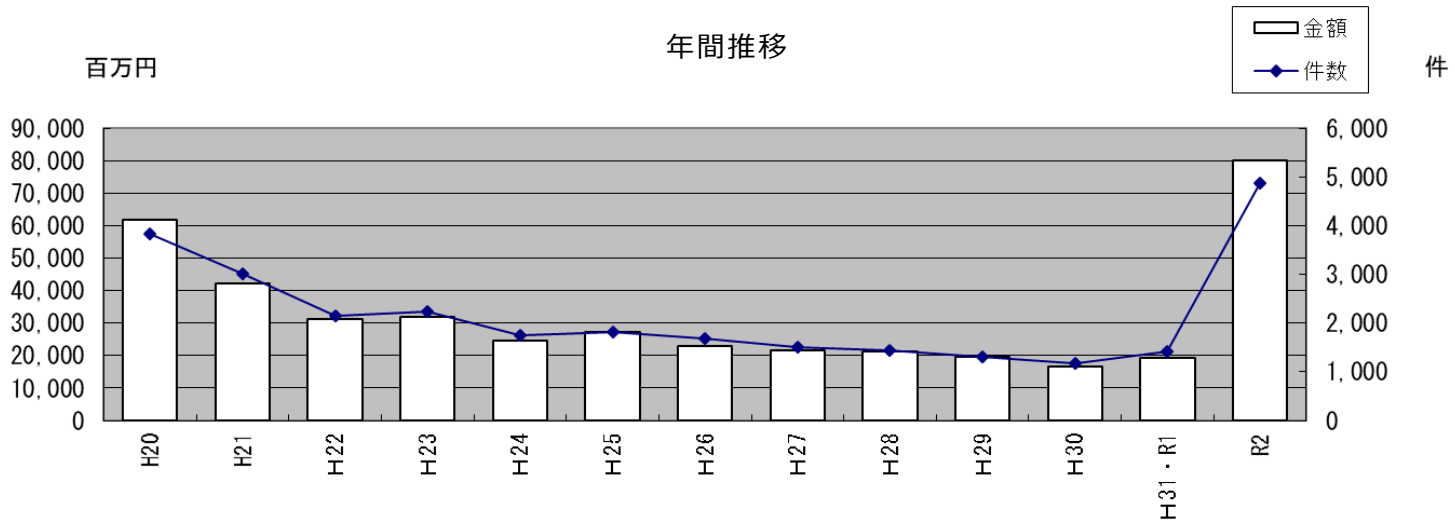


・緊急事態宣言の解除後、数値の回復と落ち込みを繰り返してきたが、９月以降少しずつ回復傾向であることが読み取れる。しかしながら緊急事態宣言発令前の数値にはほど遠く、未だに強く影響が出ていることが伺える。

（２）愛知県信用保証協会が保証承諾した市内事業者の融資状況［令和２年１２月末時点］

月別推移（過去５年間）





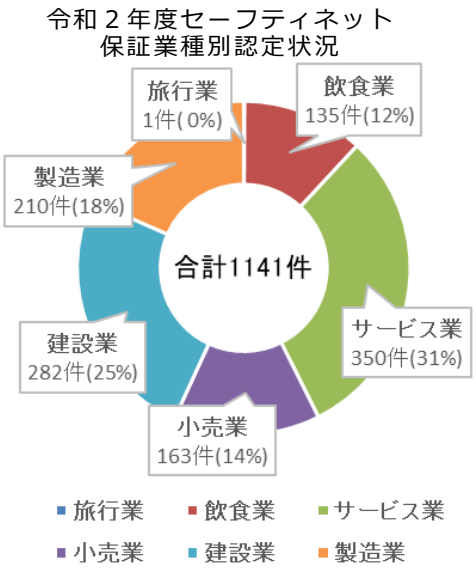
（３）セーフティネット保証５号業種別認定状況［令和２年１２月末時点］

年度	建設業	製造業	卸売業	小売業	運送業	その他	計
H29	４件	３件	２件	１件	１件	０件	11 件
H30	１件	０件	０件	０件	１件	２件	４件
R1	０件	３件	０件	０件	０件	１件	４件

※令和２年４月より集計業種を見直し、卸売業は小売業へ、
運送業はサービス業へ区分した。

年度	旅行業	飲食業	ｻｰﾋﾞｽ業	小売業	建設業	製造業	計
R2	１件	135 件	350 件	163 件	282 件	210 件	1141 件

※令和２年度は１２月末時点



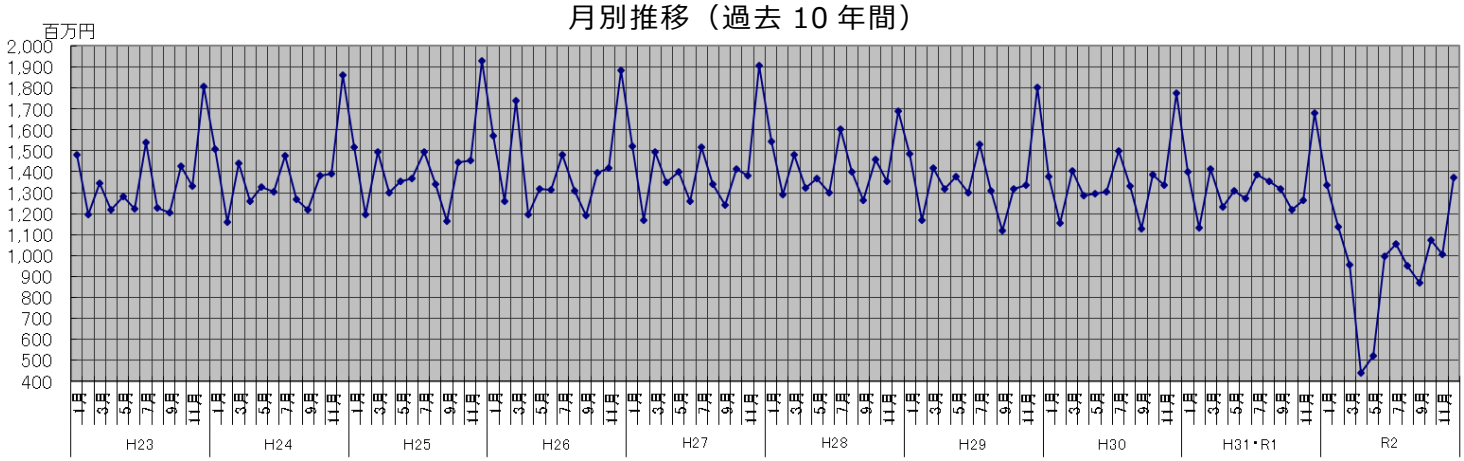
・令和２年１２月時点でのセーフティネット保証５号の業種別認定状況は、第４８回景況調査時と同様サービス業が最も多く、３１％を占めている。その他の認定割合も前回調査時と変わらず、全体の認定件数も増加し続けている。また、同時点での４号認定は 1,722 件、危機関連保証は 1,250 件となっている。

（４）認定特定創業支援事業による支援を受けた証明書の発行件数［令和２年１２月末時点］

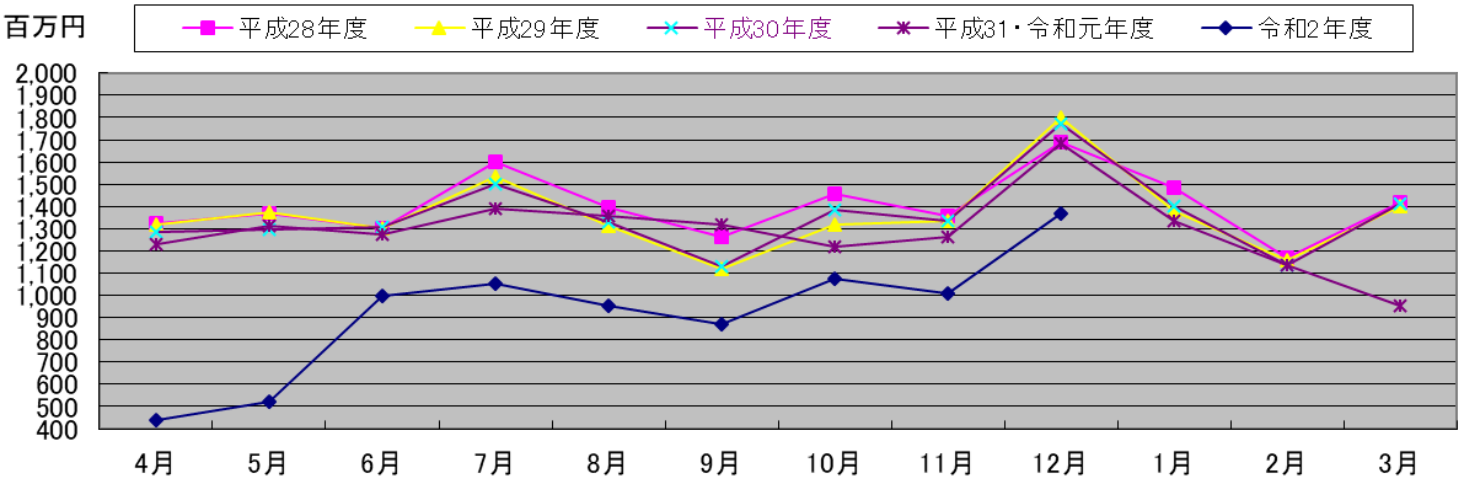
H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度
２件	10 件	20 件	33 件	30 件	26 件

（５）大型店の動向（中心市街地大型店４社の売上高の合計）［令和２年１２月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



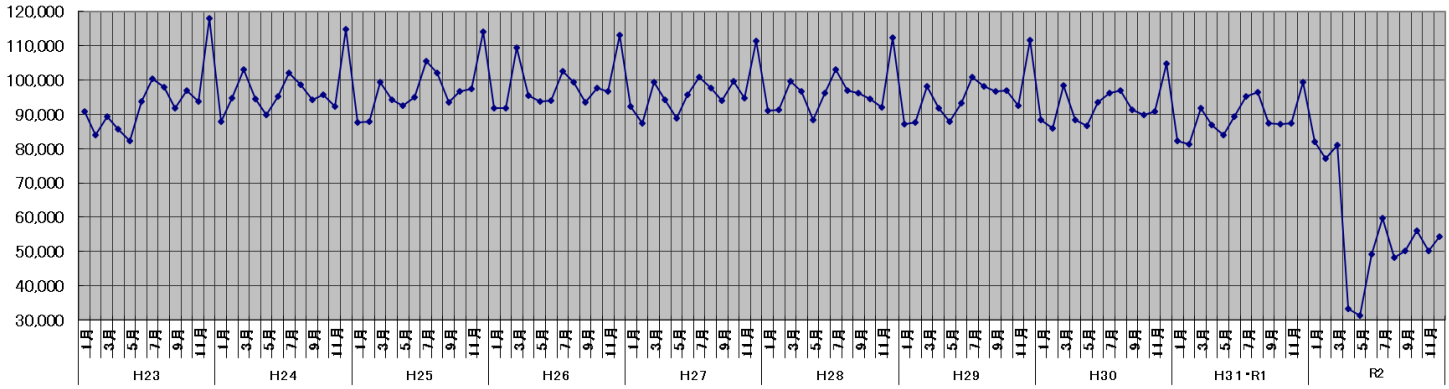
過去５年間における月別推移の比較



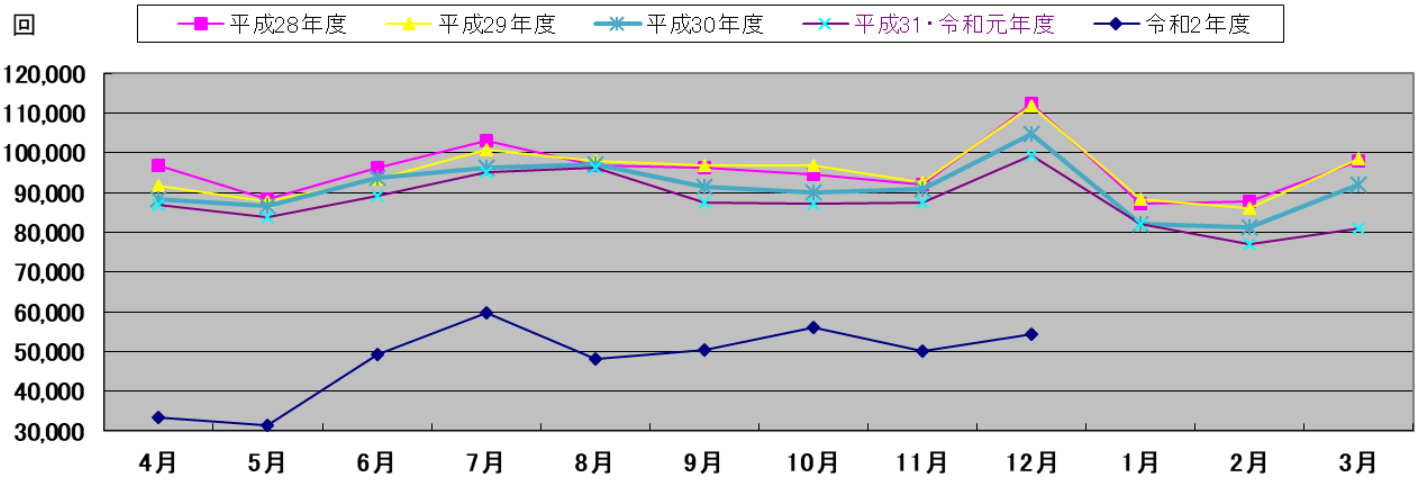
令和２年度…１０月(1,074 百万円)　１１月(1,006 百万円)　１２月(1,370 百万円)
となっており、前年比はそれぞれ　１０月(88.2%)、１１月（79.5%)、１２月(81.5%) である。
　未だ例年と比べると、売り上げは低迷しているものの、前回調査時における前年比が７月(75.9%)、８月（70.1%)、９月(66.0%)であったことを鑑みると、わずかではあるが売り上げが回復しつつあることが伺える。

（６）タクシー業界の動向（市内輸送回数実績を愛知県タクシー協会からヒアリング）［令和２年１２月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



過去５年間における月別推移の比較

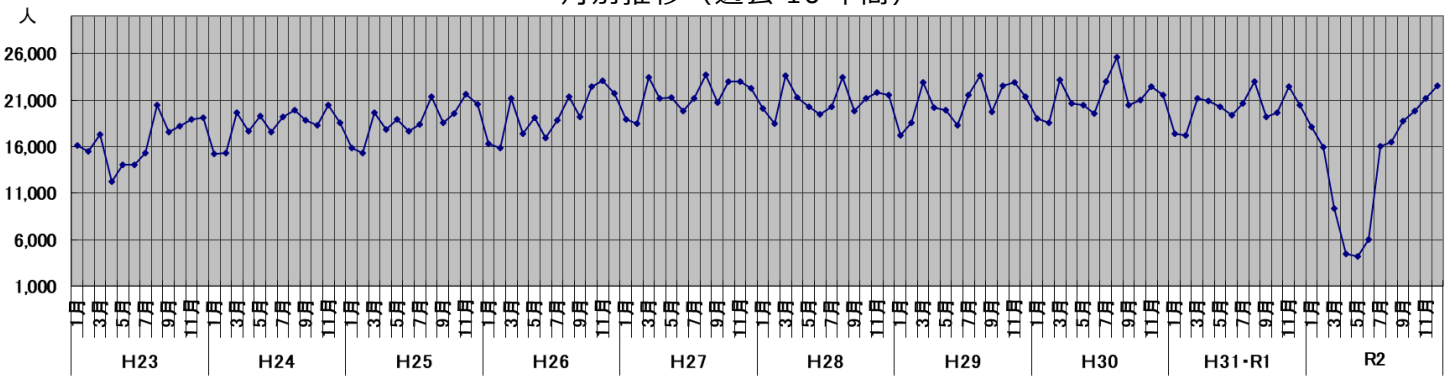


・令和２年度…１０月(56,075 回)　１１月(50,161 回)　１２月(54,216 回)
となっており、前年比はそれぞれ　１０月(64.3%)、１１月(57.3%)、１２月(54.6%) である。

・令和２年の 4～5 月において、「大型店の動向」及び「タクシー業界の動向」は、前年比 35%程度まで売り上げ及び運行回数が低下した。このうち「大型店の動向」は、前年比 80%程度まで売り上げが回復しているが、「タクシー業界の動向」は前年比 50～60%程度までの回復に留まっている。

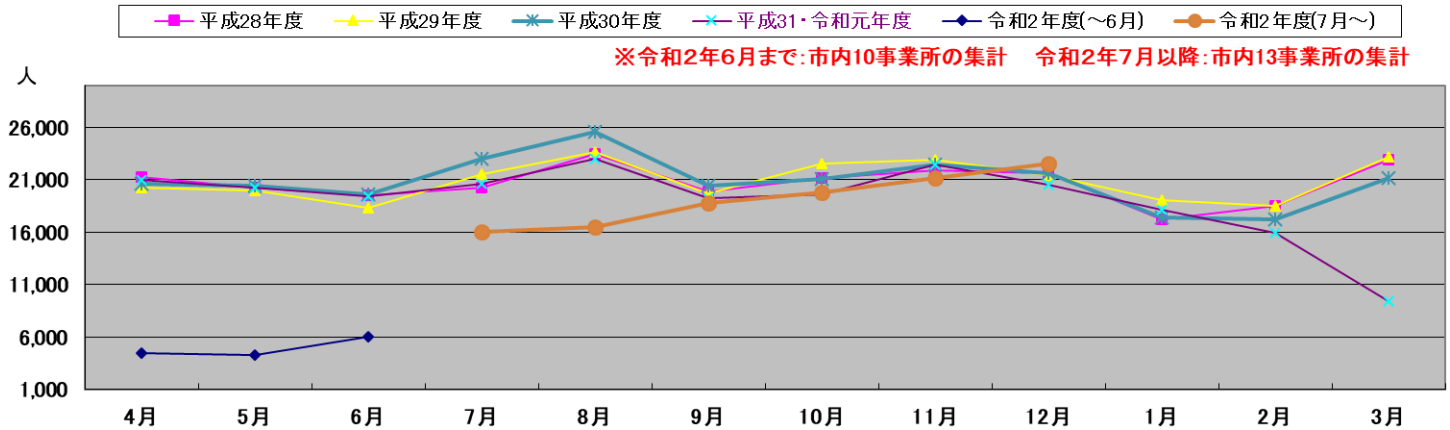
（７）ホテル・旅館業界の動向（市内１３事業所の宿泊者数の合計）［令和２年１２月末時点］

月別推移（過去 10 年間）



※令和2年6月まで:市内10施設の集計　令和2年7月以降:市内13施設の集計

過去５年間における月別推移の比較



※令和2年6月まで:市内10事業所の集計　令和2年7月以降:市内13事業所の集計

・令和２年７月より、宿泊者数調査の対象を１０事業所から１３事業所に変更している。調査対象の変更に伴い、例年数値との比較はできないが、７月から１２月まで毎月宿泊者数は増加している。

２　まとめ

前回調査時と同様、「タクシー業界の動向」において、未だ回復のきざしが見えず、大きな影響が残っていることが伺える。また、信用保証協会の保証承諾件数について、７月時点をピークとして件数は減少し続けていたが、１２月に再度増加が見られた。